

第5回  
第4次多摩市生涯学習推進計画策定委員会

「生涯学習」に関するアンケート  
世代別結果について  
—「資料2」補足—

2020年2月27日(木)

ベネッセ教育総合研究所  
木村 治生

- 1 調査地域： 多摩市全域
- 2 調査対象者：15歳以上の市民
- 3 標本数： 2,000名
- 4 調査期間： 令和元年9月1日～令和元年9月17日（9月25日回収分まで含む）
- 5 調査方法： 郵送配布・郵送回収による郵送調査及びインターネット調査
- 6 回収数： 441名（回収率：22.1%）
- 7 世代別回収数は、以下の通り

	市の人口		調査回収数（年代無回答除く）	
	実数	割合	実数	割合
10代（15歳以上）	6,394	4.9	5	1.2
20代	14,628	11.1	13	3.0
30代	17,165	13.1	38	8.8
40代	23,518	17.9	71	16.4
50代	19,537	14.9	59	13.6
60代	18,201	13.8	79	18.2
70代以上	32,078	24.4	169	38.9
	131,521	100	434	100

回収数と一致しないのは、  
年齢不明票があるため？

- 市の人口（標本母体）と本調査の回収数から、**標本誤差**は以下と推定される

※信頼区間:95%

	回答比率				
	50%	40% or 60%	30% or 70%	20% or 80%	10% or 90%
全体	±6.7	±6.6	±6.2	±5.4	±4.0
10-30歳代	±18.9	±18.5	±17.3	±15.1	±11.3
40-50歳代	±12.4	±12.1	±11.4	±9.9	±7.4
60歳以上	±9.0	±8.8	±8.2	±7.2	±7.4

回答比率が50%だった場合、43.3%~56.7% (±6.7ポイント)に入る (95%の確率で)

全体数値を見るときは5ポイント前後、数値がずれる可能性がある

- 統計学的に有意差はない ≠ 両者に差はない

数値をもとにして「なぜ?」「どうする?」を考えることは大事

## 10-30歳代

## 40-50歳代

## 60歳代以上

### 性別

- 女性がやや多い
  - ・女性 53.6%
  - ・男性 44.6%

- 男女ほぼ半数
  - ・女性 51.5%
  - ・男性 47.7%

- 女性が多い
  - ・女性 58.1%
  - ・男性 41.1%

### 職業

- 勤労者が多い
  - ・常勤 60.7%
  - ・非常勤 14.3%
  - ・学生 14.3%

- 勤労者が多い
  - ・常勤 53.8%
  - ・非常勤 20.0%
  - ・専業主婦 12.3%

- 無職・主婦が多い
  - ・無職 40.0%
  - ・専業主婦 32.3%
  - ・常勤/非常勤 各10.1%

### 家族

- 未婚が多い
  - ・配偶者なし 64.3%
  - ・子「いない」 64.3%

- 既婚が多い
  - ・配偶者あり 73.1%
  - ・子「いる」 70.0%

- 既婚が多い
  - ・配偶者あり 71.0%
  - ・子「いる」 87.1%

### イメージ

● 独身で働いている  
若年層

● 既婚・子ども有で  
働いているミドル層

● 既婚でリタイアした  
シニア層

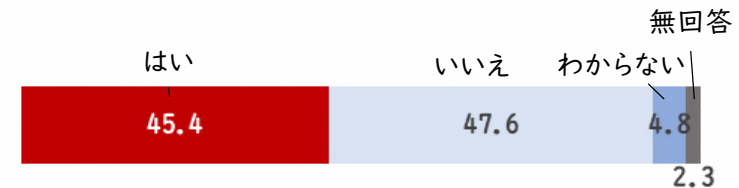
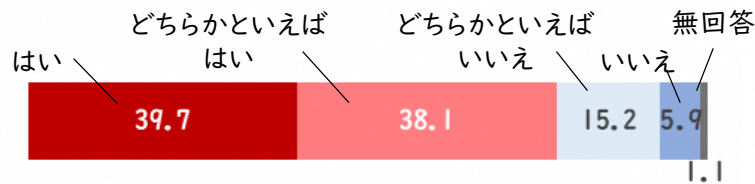
# 生涯学習への関心と参加

## 「生涯学習活動」への関心

●あなたは、「生涯学習活動」について関心がありますか。

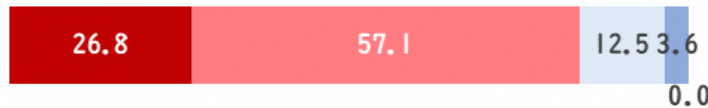
## 「生涯学習活動」への参加

●あなたは、この1年くらいの間に、「生涯学習活動」をしたことがありますか

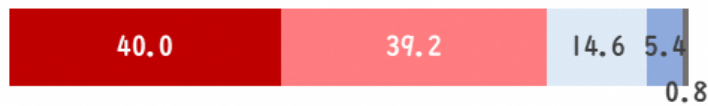


全体

10-30  
歳代

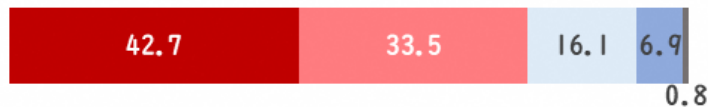


40-50  
歳代



●参加率低い

60歳代  
以上

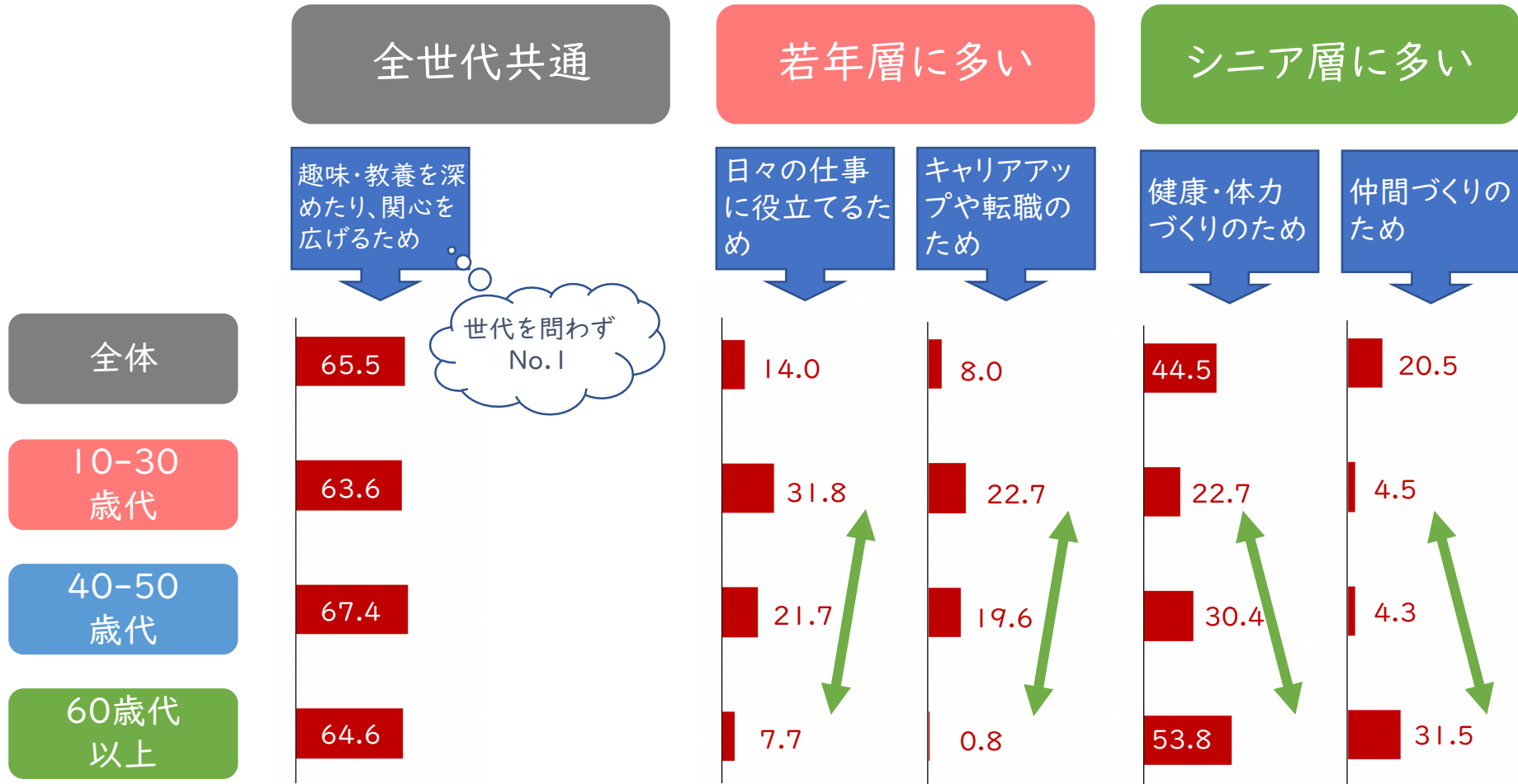


●参加率高い

8割が関心をもつが、参加は半数以下 → 参加にはハードルがある

# 生涯学習に参加した理由

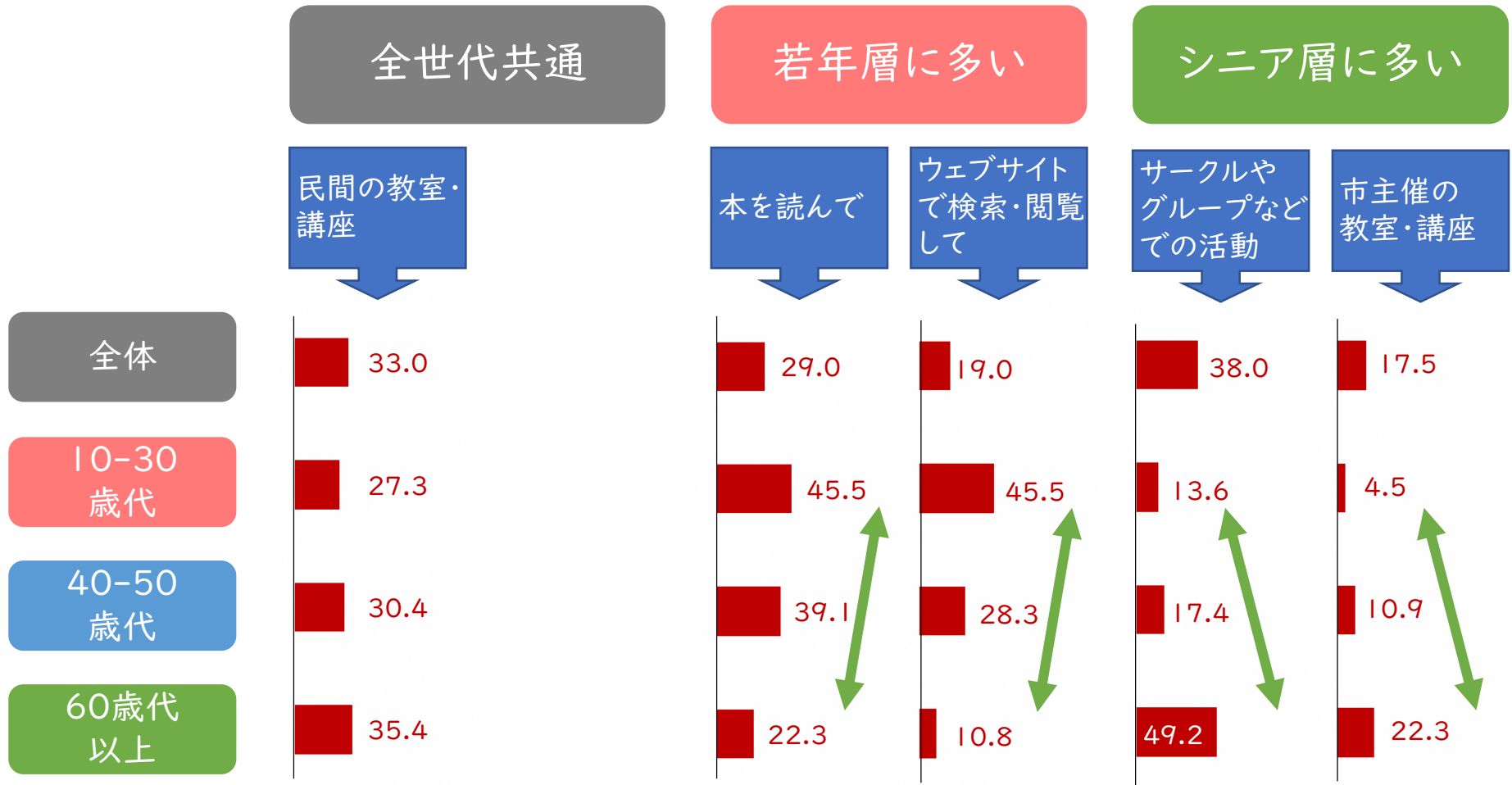
●あなたが、「生涯学習活動」をした理由は何ですか。 ※活動に参加した200名



若年層は仕事、シニア層は健康や仲間づくり→世代に応じたニーズも

# 生涯学習の方法

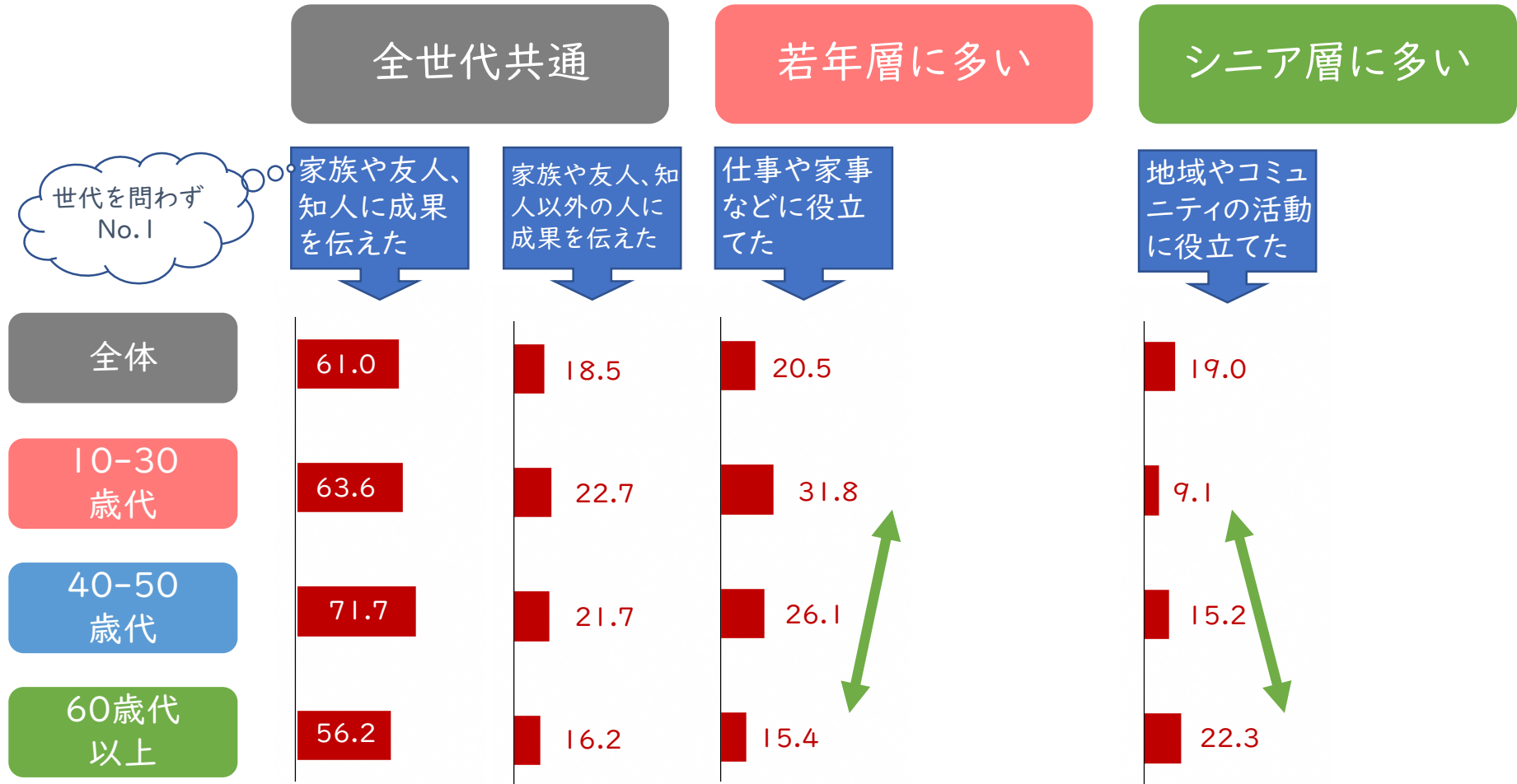
●あなたはどのように「生涯学習活動」をしましたか。 ※活動に参加した200名



若年層は本やWEB、シニア層はサークルや市講座→活動場所にも違い

# 生涯学習の成果

●あなたは、「生涯学習活動」の成果を誰かに伝えたり、役立てたりしましたか。  
※活動に参加した200名

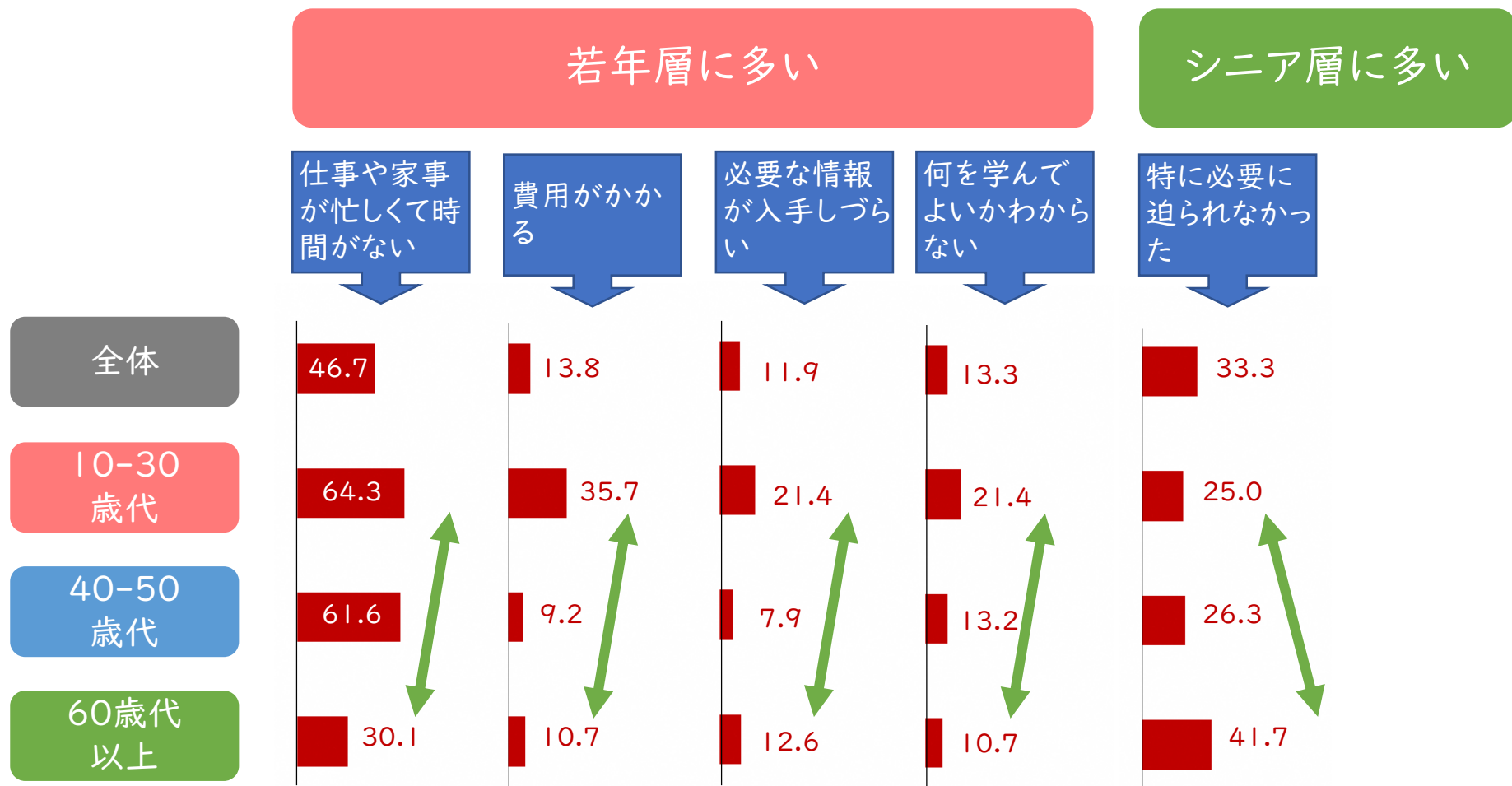


若年層は仕事・家事に、シニア層は地域活動に役立てたが多い



# 生涯学習に参加しなかった理由

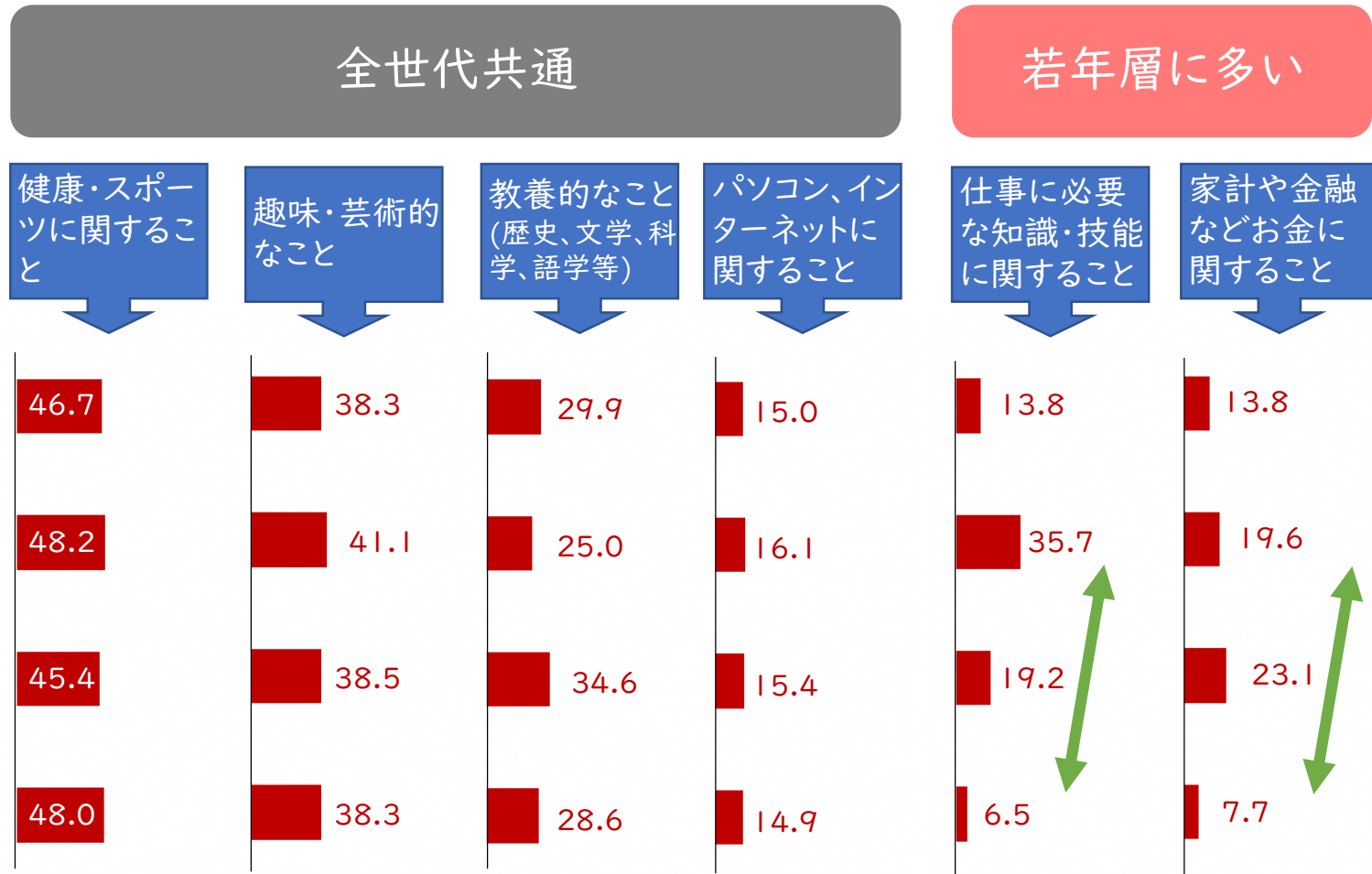
●あなたが、「生涯学習活動」をしなかった理由は何ですか。 ※活動に参加しなかった210名



若年層は忙しい、シニア層は必要に迫られなかった→勤労者は多忙

# 今後したい生涯学習活動

●今後、どのような「生涯学習活動」がしたいですか。 ※全員441名



今後の希望は世代間の差違が小さい→ただし、若年層は実学が高い

# 地域活動への参加意向

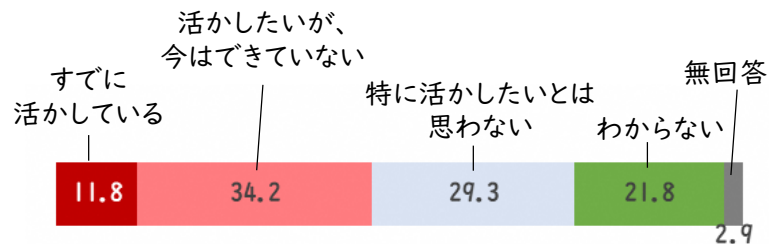
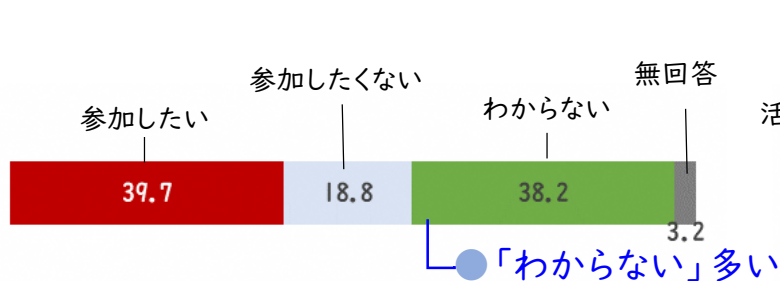
## 地域や社会での活動に参加したいか

●あなたは、地域や社会での活動（地域活動やボランティア活動など）に参加したいと思いますか。

## 自分の知識・経験を地域に活かしたいか

●あなたの知識や経験、学習の成果を、ボランティア活動や地域社会の発展のために活かしたいと思いますか。

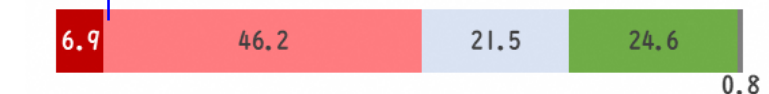
全体



10-30歳代



40-50歳代



60歳代以上



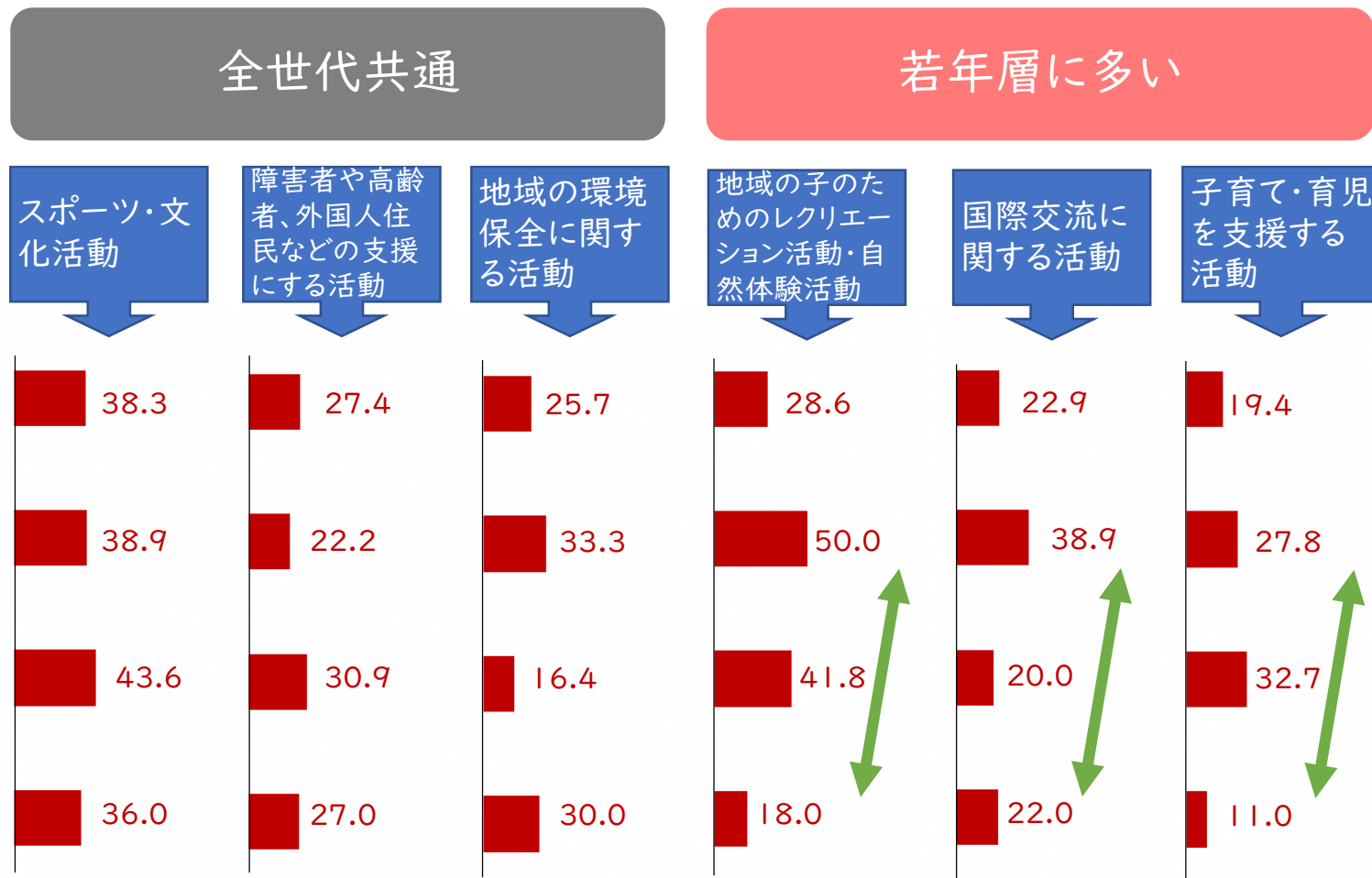
●もっとも高い

参加意向はあるが「分からない」も多い→日頃あまり考えたことがない？

# 参加したい地域活動

●あなたは、地域や社会でどのような活動に参加してみたいですか。

※活動に参加したい175名



スポーツ・文化活動が多い→ただし、若年層は子ども関連が多い

● 多くの方が地域や社会での活動に参加するようになるためには、行政はどのようなことをすれば良いと思いますか。 ※全員441名

## 全世代共通

## 若年層に多い

地域や社会での活動に関する情報提供  
活動への参加につながるようなきっかけ作り  
人的体制や活動の拠点が整っていること

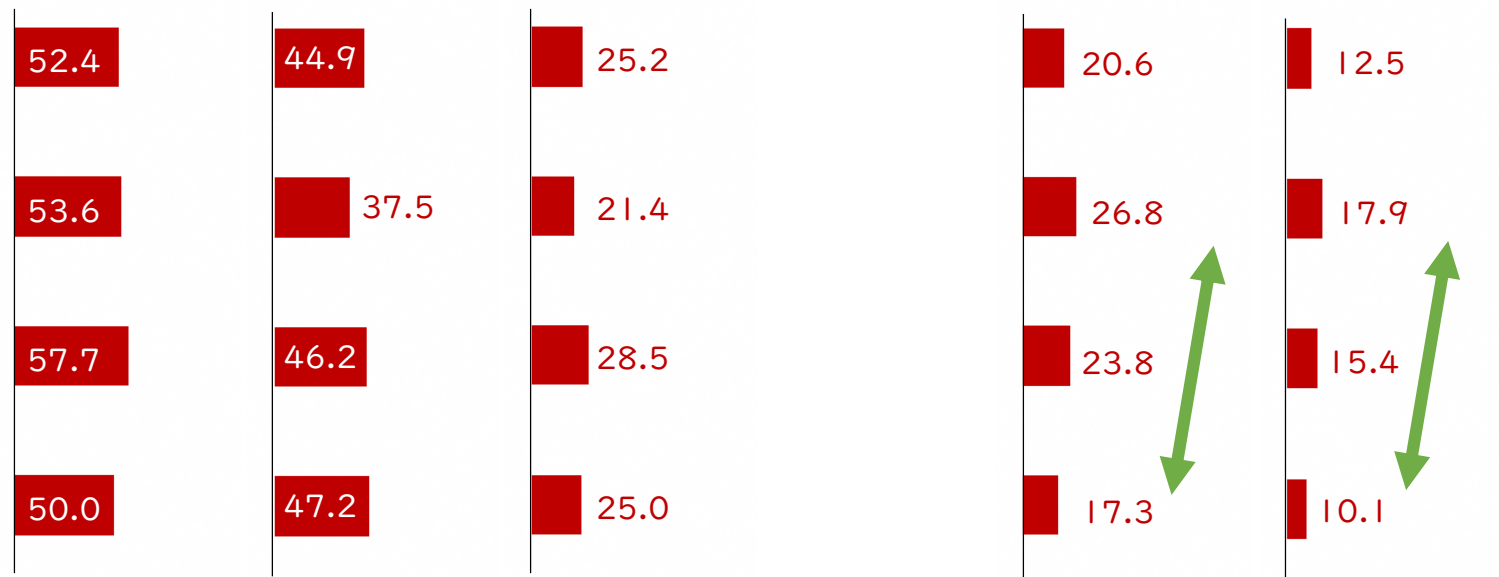
交通費などの必要経費の支給  
活動の成果が社会的に評価されること

全体

10-30歳代

40-50歳代

60歳代以上



世代を問わず情報提供、きっかけ作りの希望が多い

## 全世代共通

★参加意向は高いが実際の参加とは乖離がある。日頃は生涯学習についてあまり深く考えていない様子がうかがえる

- 生涯学習活動への参加意向は、いずれの世代も8割と高い  
ただし、実際の活動率は4~5割でギャップがある
- 趣味・教養を深めたり、関心を広げるために参加する人が多い
- 今後の希望で多いのは「健康・スポーツ」「趣味・芸術」
- 地域活動の参加意向は「参加したい」「わからない」が各4割
- 行政への要望は「情報提供」と「きっかけづくり」

## 10-30 歳代

★本やWEBが中心で、仕事やキャリアアップと関連する個人の活動が多い。ただし、多忙のため、活動率は低め

- 生涯学習活動の活動率が39%で低め
- 参加理由は、仕事やキャリアアップが多い
- 本やWEBサイトの利用が多く、個人で活動する傾向
- 多忙、費用を理由に参加しない人が多い
- 今後の希望についても仕事に役立つものを挙げる傾向

40-50  
歳代

★全体に「10-30歳代」と「60歳代以上」の中間に位置。  
活動率がもっとも低く、多忙を理由に不参加の傾向。

- 生涯学習活動への活動率は35%でもっとも低い
- 多忙を理由に参加しない人が多い
- 家計や子育てなど生活課題に関する活動への参加意向が高め

60歳代  
以上

★活動率は5割を超えており、他の世代より高い。  
健康・体力づくり、仲間づくりが理由として多く、  
サークルでの活動や市の教室・講座への参加が多い。

- 生涯学習活動への参加率が52%で高め
- 健康・体力づくり、仲間づくりを理由に参加する人が多い
- 生涯学習の必要に迫られなかったため参加しない人が多い
- 活動はサークルや市の教室・講座が多い

## ①世代間の相違に関して

- 世代を問わず8割が生涯学習に関心を持つこと、また、関心が高いのは「健康・スポーツ」「趣味・芸術」であるのは共通
- 若年層はキャリアに役立つ個人的活動(本・WEB)などを重視する一方で、シニア層は仲間づくりを志向してサークル活動や市の教室・講座を活用する傾向
- ★世代間のつながりや学び合いをどう作るのか。そもそもニーズが異なる可能性
- ★若年層のキャリアにつながる学びニーズは重要だが、行政が担うべきか

## ②行政の役割に関して

- 住民が求めているのは「情報提供」と「きっかけづくり」
- しかし、生涯学習に関心がない人も多く、情報提供やきっかけがあっても参加しない可能性
- 優先度は、自分の健康や趣味・教養、仕事関連が高く、地域づくりは低い
- ★行政は「情報提供」「きっかけづくり」以上をどこまで積極的に担うのか
- ★個人のニーズとしては顕在化しないが、全体の活性化のために「啓発」「体制や場の整備」は重要?

## ③多摩市の特色づくりに関して

- データからわかるのは一般的傾向に過ぎない  
→このなかから何を大きな課題ととらえるか? 多摩市として何を重視し、どこに投資するか?
- ★「健幸まちづくり」との関連→さまざまな施策を「生涯学習活動」の観点で捉え直す
- ★特徴的な施策や施設、公園面積東京都No.1、健康な高齢者の多さなど